令和4年度 事業報告書

自 2022年4月 1日

至 2023年3月31日

一般財団法人 高銀地域経済振興財団

令和4年度 事業報告書

1. 実施事業の概要

令和4年度事業計画に基づき以下の事業を実施した。

1	地域社会の振興や地域経済の活性化につながるような取組みを実施している団体等に対する助成や支援、情報の提供等を通じて、地域の発展に貢献することを目的とする事業		事業費小計 11,367,557円																				
①	「『食の魅力』発見商談会2022」への出展支援	開催日 6/29	事業費 350,000円																				
<p>「『食の魅力』発見商談会2022」への出展事業者に対する助成金応募要領をホームページで公開して公募。同商談会は2022年6月29日に東京都立産業貿易センターで開催され、高知県内から応募のあった下記3事業者が出展。助成金は、過去にこの商談会への参加実績がなく初参加の事業者には1社あたり15万円、過去にこの商談会への参加実績のある事業者には1社あたり10万円とし、総額35万円の助成金を贈呈。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">出展事業者</th> <th style="width: 30%;">住所</th> <th style="width: 10%;">初参加企業</th> <th style="width: 20%;">助成金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いしはらキッチン 代表 中町小以登</td> <td>土佐郡土佐町西石原1228</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: right;">15万円</td> </tr> <tr> <td>株ウェルカムジョン万カンパニー</td> <td>土佐清水市天神町6-18</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">10万円</td> </tr> <tr> <td>株末広</td> <td>土佐郡土佐町田井1353-2</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">10万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計 3先</td> <td style="text-align: right;">35万円</td> </tr> </tbody> </table>				出展事業者	住所	初参加企業	助成金額	いしはらキッチン 代表 中町小以登	土佐郡土佐町西石原1228	○	15万円	株ウェルカムジョン万カンパニー	土佐清水市天神町6-18	-	10万円	株末広	土佐郡土佐町田井1353-2	-	10万円	合計 3先			35万円
出展事業者	住所	初参加企業	助成金額																				
いしはらキッチン 代表 中町小以登	土佐郡土佐町西石原1228	○	15万円																				
株ウェルカムジョン万カンパニー	土佐清水市天神町6-18	-	10万円																				
株末広	土佐郡土佐町田井1353-2	-	10万円																				
合計 3先			35万円																				
②	四万十川下流域の水質改善と環境保全に向けた活動を支援	実施日 9/28	事業費 100,000円																				
<p>四万十川流域の漁業・養殖生産量が低迷していることから、四万十川漁業協同組合連合会と四万十市等が主体となって、流域の科学的調査に取り組んでおり、このたび下流域の調査が終了した。この調査結果を報告書として取りまとめ、水質改善と環境保全に向けて、官公庁や関連団体等に提案していく活動を支援するため、四万十川漁業協同組合連合会に対し100千円を支援した。</p>																							
③	四万十川中流域の水質改善と環境保全に向けた活動を支援	実施日 12/14	事業費 700,000円																				
<p>四万十川流域の水質改善と環境保全に向け、四万十川東部漁業協同組合および四万十川西部漁業協同組合が連携し、四万十川中流域の科学的調査に取り組んでおり、こうした活動を支援するため、四万十川東部漁業協同組合に対し700千円を支援した。</p>																							
④	こどもサッカー教室	開催日 10/29、11/5・19	事業費 1,001,621円																				
<p>地域の子どもたちを対象に、競技の普及やジュニアの育成を通じて地域のスポーツ振興に貢献していくことを目的とした「こどもサッカー教室」を、高知銀行ならびに高知大学と共同で南国市、黒潮町、高知市の3会場で開催。 年齢やサッカー経験の有無により数チームに別れて高知大学サッカー部員が指導し、高知銀行の行員がサポートした。幼稚園児・保育園児から小学校高学年までの子どもたち合計267名にご参加いただいた。 (南国教室：開催日10月29日、参加者98名 黒潮教室：開催日11月5日、参加者59名 春野教室：開催日11月19日、参加者110名)</p>																							
⑤	県内外の高校生を対象とした研修「高校生が森・里・海を考えるサミット」を開催	開催日 11/5～6	事業費 1,496,080円																				
<p>地域の一次産業である農林水産業の課題や付加価値向上等について、現場の声を聞きながら気づきや新たなアイデアを得ることを目的とした研修を室戸市で開催し、高知県内の幡多農業高校、高知海洋高校、嶺北高校、室戸高校、および京都府の北桑田高校の5校から18名の高校生にご参加いただいた。研修初日は土佐備長炭窯元炭玄およびむろと廃校水族館を視察し、職人や館長にインタビューを実施。二日目は前日の視察を踏まえてブレインストーミングを用いたワークショップを行い、高校生目線の自由で個性豊かなアイデアが多数出されるなど、事業化に向けたヒントにつながる機会の提供にもなった。</p>																							

⑥	シーズ発表会	開催日 11/25	事業費 99,000円										
<p>地元企業のニーズと高知高専が保有する研究技術との連携を図ることで、産業の振興と地域の発展に貢献することを目的としたシーズ発表会を、高知銀行および高知工業高等専門学校と共同で11月25日に開催し、県内企業など18社から28名の方にご参加いただいた。当日発表された研究テーマは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作業用遠隔作業用ロボットの開発 ・土壌画像特徴量抽出のための簡易装置開発と土壌化学性推計AIモデルの開発 ・小規模土木建造物の点検および3次元モデリング技術の開発 													
⑦	災害対策用井戸を設置	実施日 11/18	事業費 2,545,811円										
<p>大規模災害時において、断水が長期化した事例が多く、生活用水の確保が課題となっていることから、災害時等の際に近隣住民等へ井戸水を無償で提供することで、地域の振興とくらしをサポートするため、高知銀行と協働で井戸を設置。</p> <p>設置場所は高知銀行西支店と野市支店の敷地内で、設置費用は、ポンプ等の設備関連費用を高知銀行が拠出し、掘削および設置に関連する費用総額2,545千円を当財団が支援した。</p> <p>設置した井戸は所定の水質基準を満たしている。なお、西支店の井戸は、高知市が実施する「高知市災害用協力井戸登録事業」に登録され、「災害用協力井戸」として周知されている。</p>													
⑧	文化、芸術活動の支援	開催日 2023年1月22日	事業費 3,508,725円										
<p>若者の未来につながる機会の提供と人材の育成を目的として、高知県内の高校生を対象に、写真家のヨシダナギ氏を招き講演と撮影した写真の講評イベントを、高知銀行との共催により1月22日に開催した。会場は、高知市のちより街テラス ちよテラホールで、高校生40名と関係者ら合計59名にご参加いただいた。別途、会場に来場できない方にイベントの様子をYouTubeで配信した。</p> <p>メセナ関連事業としては初開催となったが、講師の経験を通して、参加者自身が将来を見つめるきっかけに資することができたものと思われ、参加者の評価は総じて高かった。</p>													
⑨	学術、科学技術の振興に取組む方に対する助成事業	実施日 2023年3月24日	事業費 800,000円										
<p>令和4年度の実施事業として、県内の高等教育機関等に在籍し学術および科学技術の振興に取組む方を対象に、地域経済の振興と地域社会の発展につながるような研究課題等を公募し、応募いただいた研究概要について選考の結果、下記4名の方に一人あたり20万円、総額80万円の助成金を贈呈した。</p> <table border="1" data-bbox="288 1406 1417 1682"> <thead> <tr> <th data-bbox="288 1406 555 1440">助成対象者</th> <th data-bbox="555 1406 1417 1440">研究内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="288 1440 555 1496">高知県立大学 助教 竹本 和仁氏</td> <td data-bbox="555 1440 1417 1496">高知県産イタドリ葉の食物アレルギー症状緩和による高付加価値化</td> </tr> <tr> <td data-bbox="288 1496 555 1552">高知高専 准教授 池田 雄一氏</td> <td data-bbox="555 1496 1417 1552">冬季に積雪のある山陰・山陽の木造住宅と比較した高知県の木造住宅の耐震性</td> </tr> <tr> <td data-bbox="288 1552 555 1608">高知高専 准教授 近藤 拓也氏</td> <td data-bbox="555 1552 1417 1608">高知県で排出された木質バイオマス灰の有効利用に関する研究</td> </tr> <tr> <td data-bbox="288 1608 555 1682">高知高専 准教授 大角 理人氏</td> <td data-bbox="555 1608 1417 1682">土壌画像特徴量抽出のための簡易装置開発と土壌化学性推計AIモデルの開発</td> </tr> </tbody> </table>				助成対象者	研究内容	高知県立大学 助教 竹本 和仁氏	高知県産イタドリ葉の食物アレルギー症状緩和による高付加価値化	高知高専 准教授 池田 雄一氏	冬季に積雪のある山陰・山陽の木造住宅と比較した高知県の木造住宅の耐震性	高知高専 准教授 近藤 拓也氏	高知県で排出された木質バイオマス灰の有効利用に関する研究	高知高専 准教授 大角 理人氏	土壌画像特徴量抽出のための簡易装置開発と土壌化学性推計AIモデルの開発
助成対象者	研究内容												
高知県立大学 助教 竹本 和仁氏	高知県産イタドリ葉の食物アレルギー症状緩和による高付加価値化												
高知高専 准教授 池田 雄一氏	冬季に積雪のある山陰・山陽の木造住宅と比較した高知県の木造住宅の耐震性												
高知高専 准教授 近藤 拓也氏	高知県で排出された木質バイオマス灰の有効利用に関する研究												
高知高専 准教授 大角 理人氏	土壌画像特徴量抽出のための簡易装置開発と土壌化学性推計AIモデルの開発												
⑩	高知県内事業者の商談会への出展支援	実施日 2023年3月24日	事業費 750,000円										
<p>高知県内事業者の各種商談会への出展支援を行うことを目的に、高知県産業振興計画に掲げる地産外商戦略の一環として、同商談会への出展支援を主導している一般財団法人高知県地産外商公社に対し75万円を支援。</p>													
上記の事業に付帯する振込手数料			16,320円										

2	経済・産業動向や地域市場の調査及びその情報の提供	-
	該当なし	-

3	中小企業の経営改善に資する指導・教育・情報の提供、並びに企業診断	事業費小計 430,705円
①	改正電子帳簿保存法セミナー、改正電子帳簿保存法セミナーⅡ	開催日 4/20 6/22 事業費 190,850円
<p>B S Kとの共催による中小企業向けセミナーを高知市のサンピアシリーズで4月から6月にかけて2回開催。 帳簿書類を電子的に保存する際の手続きが見直されたことについて解説。 中小企業の経営者や経理担当者など合計203名の方にご参加いただいた。</p>		
②	雇用・労働分野関係助成セミナー	開催日 7/26 事業費 141,900円
<p>雇用の安定や職場環境の改善、仕事と家庭の両立支援などについて解説のほか、各種支援制度を紹介する「雇用・労働分野関係助成セミナー」を、高知労働局と共同で7月26日に高知銀行本店で開催。 テーマは「高知労働局の支援制度について」「働き方改革関連法の概要について」で、地元の中小企業者など20名の方にご参加いただいた。会場案内用横断幕等の制作費38千円および開催の周知に係るチラシ制作費103千円を支援。</p>		
③	会社のバトンタッチ・セミナーⅡ	開催日 9/14 事業費 95,425円
<p>一般社団法人ビジネスサポートこうち（B S K）との共催による中小企業向けセミナーを、9月14日に高知市のサンピアシリーズで開催。 会社の承継や資産の相続等について、事例紹介を交えて解説。中小企業の経営者や経理担当者など57名の方にご参加いただいた。会場賃借料95千円を支援。</p>		
上記の事業に付帯する振込手数料		2,530円

4	公益的な団体等（地方自治体ならびに大学法人等）への寄付	-
	該当なし	-

令和4年度 実施事業費合計		11,798,262円
---------------	--	-------------

2. 役員に関する事項

理 事 森下 勝彦 [理事長]
海治 勝彦
三宮 昌子
成瀬 洋
田村 忍
吉村 卓浩

監 事 松田 裕邦
評議員 森下 洋司
久保田 雅人
原 哲也

※ 2023年（令和5年）3月31日現在、理事6名、監事1名、評議員3名

貸借対照表

令和5年3月31日現在

科 目	令和4年度末	令和3年度末	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(普通預金)	4,072,441	11,030,020	△ 6,957,579
流動資産合計	4,072,441	11,030,020	△ 6,957,579
2. 固定資産			
(1)基本財産			
(定期預金)	243,000,000	248,000,000	△ 5,000,000
(その他)	0	0	0
基本財産合計	243,000,000	248,000,000	△ 5,000,000
(2)特定資産	0	0	0
(3)その他固定資産	0	0	0
固定資産合計	243,000,000	248,000,000	△ 5,000,000
資産合計	247,072,441	259,030,020	△ 11,957,579
II 負債の部			
1. 流動負債	0	0	0
2. 固定負債	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	247,072,441	259,030,020	△ 11,957,579
(うち基本財産への充当額)	243,000,000	248,000,000	△ 5,000,000
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	247,072,441	259,030,020	△ 11,957,579
負債および正味財産合計	247,072,441	259,030,020	△ 11,957,579

正味財産増減計算書

令和4年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	4,201	21,509	△ 17,308
定期預金利息	4,201	21,509	△ 17,308
その他	0	0	0
② 雑収入	103	113	△ 10
普通預金利息	103	113	△ 10
その他	0	0	0
③ 受取補助金等	0	23,000	△ 23,000
④ その他(受取寄付金)	0	0	0
経常収益計	4,304	44,622	△ 40,318
(2) 経常費用			
① 事業費	11,798,262	5,225,389	6,572,873
支払助成金	1,150,000	1,560,000	△ 410,000
支払寄付金	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
支払手数料	18,850	16,870	1,980
その他	10,629,412	3,648,519	6,980,893
② 管理費	103,621	103,621	0
会議費	0	0	0
消耗品費	0	0	0
図書新聞費			0
雑費	102,411	102,411	0
支払手数料	1,210	1,210	0
経常費用計	11,901,883	5,329,010	6,572,873
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 11,897,579	△ 5,284,388	△ 6,613,191
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益	0	0	0
② 固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産売却損	0	0	0
② 固定資産減損損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 11,897,579	△ 5,284,388	△ 6,613,191
法人税、住民税及び事業税	60,000	60,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 11,957,579	△ 5,344,388	△ 6,613,191
一般正味財産期首残高	259,030,020	264,374,408	△ 5,344,388
一般正味財産期末残高	247,072,441	259,030,020	△ 11,957,579
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	247,072,441	259,030,020	△ 11,957,579

正味財産増減計算書内訳表

令和4年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	実施事業等会計					法人会計	合計
	継続事業 1	継続事業 2	継続事業 3	特定寄附 1	小計		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	4,201	4,201
定期預金利息						4,201	4,201
その他							0
② 雑収入	0	0	0	0	0	103	103
普通預金利息						103	103
その他							0
③ 受取補助金等	0	0	0	0	0		0
④ その他(受取寄付金)	0	0	0	0	0		0
経常収益計	0	0	0	0	0	4,304	4,304
(2) 経常費用					0		0
① 事業費	11,367,557	0	430,705	0	11,798,262	0	11,798,262
支払助成金	1,150,000				1,150,000	0	1,150,000
支払寄付金				0	0	0	0
印刷製本費					0	0	0
支払手数料	16,320		2,530		18,850	0	18,850
会議費他	10,201,237		428,175		10,629,412	0	10,629,412
② 管理費	0	0	0	0	0	103,621	103,621
会議費					0		0
消耗品費					0		0
租税公課					0		0
図書新聞費					0		0
雑費					0	102,411	102,411
印刷文具費					0		0
支払手数料					0	1,210	1,210
経常費用計	11,367,557	0	430,705	0	11,798,262	103,621	11,901,883
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 11,367,557	0	△ 430,705	0	△ 11,798,262	△ 99,317	△ 11,897,579
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
① 固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0
② 固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
① 固定資産売却損	0	0	0	0	0	0	0
② 固定資産減損損失	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 11,367,557	0	△ 430,705	0	△ 11,798,262	△ 99,317	△ 11,897,579
法人税、住民税及び事業税						60,000	60,000
当期一般正味財産増減額	△ 11,367,557	0	△ 430,705	0	△ 11,798,262	△ 159,317	△ 11,957,579
一般正味財産期首残高						259,030,020	259,030,020
一般正味財産期末残高							247,072,441
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額							
指定正味財産期首残高							
指定正味財産期末残高					0	0	0
III 正味財産期末残高							247,072,441

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
該当事項はありません。
2. 有価証券の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。
3. 会計方針の変更
該当事項はありません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当事業年度末残高
基本財産				
定期預金	248,000,000	0	5,000,000	243,000,000
その他	0	0	0	0
小 計	248,000,000	0	5,000,000	243,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
小 計	-	-	-	-
合 計	248,000,000	0	5,000,000	243,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。 (単位:円)

科 目	当事業年度末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
定期預金	243,000,000	-	-	-
国 債	-	-	-	-
小 計	243,000,000	-	-	-
特定資産				
退職給付資産	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
小 計	-	-	-	-
合 計	243,000,000	-	-	-

6. 担保に供している資産
担保に供している資産はありません。
7. 保証債務等の偶発債務
該当事項はありません。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当事項はありません。
9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当事項はありません。
10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当事項はありません。
11. 関連当事者との取引の内容
該当事項はありません。
12. 重要な後発事象
該当事項はありません。
13. その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味
財産増減の状況を明らかにするために必要な事項
該当事項はありません。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載しております。
2. 引当金の明細
該当事項はありません。

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	当事業年度末残高	使用目的等
I 資産の部			
1. 流動資産			
(普通預金)	高知銀行 本店	4,072,441	事業費および管理費に使用
流動資産合計		4,072,441	
2. 固定資産			
(1)基本財産			
(定期預金)	高知銀行 本店	243,000,000	事業費および管理費に使用 (余剰資金の運用)
基本財産合計		243,000,000	
(2)特定資産		0	
(3)その他固定資産		0	
固定資産合計		243,000,000	
資産合計		247,072,441	
II 負債の部			
1. 流動負債		0	
2. 固定負債		0	
負債合計		0	
正味財産		247,072,441	

収支計算書

令和4年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①基本財産運用収入	4,200	4,201	1
定期預金利息	4,200	4,201	1
②雑収入	100	103	3
普通預金利息	100	103	3
③補助金等収入	0	0	0
④その他	0	0	0
事業活動収入計	4,300	4,304	4
2. 事業活動支出			0
①事業費支出	11,880,000	11,798,262	△ 81,738
支払助成金	3,400,000	1,150,000	△ 2,250,000
印刷製本費	0	0	0
諸謝金	0		
会議費	8,450,000	10,629,412	2,179,412
支払寄付金	0	0	0
支払手数料	30,000	18,850	△ 11,150
②管理費支出	120,000	103,621	△ 16,379
雑費	100,000	102,411	2,411
支払手数料	20,000	1,210	△ 18,790
消耗品費	0	0	0
事業活動支出計	12,000,000	11,901,883	△ 98,117
法人税、住民税及び事業税	60,000	60,000	0
事業活動収支差額	△ 12,055,700	△ 11,957,579	98,121
II 投資活動収支の部			0
1. 投資活動収入			0
①投資有価証券売却収入	0	0	0
②基本財産取崩収入	5,000,000	5,000,000	0
投資活動収入計	5,000,000	5,000,000	0
2. 投資活動支出			0
①投資有価証券取得支出	0	0	0
②その他	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	5,000,000	5,000,000	0
III 財務活動収支の部			0
1. 財務活動収入			0
①借入金収入	0	0	0
2. 財務活動支出			0
①借入金返済支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出			
当期収支差額	△ 7,055,700	△ 6,957,579	98,121
前期繰越収支差額	11,030,020	11,030,020	0
次期繰越収支差額	3,974,320	4,072,441	98,121

注記事項

- 借入金限度額 0円
- 債務負担額 0円

監査報告書

令和5年4月25日

一般財団法人 高銀地域経済振興財団
理事長 森下 勝彦 殿

一般財団法人 高銀地域経済振興財団

監事 松田 裕邦

私は、一般財団法人高銀地域経済振興財団の2022年4月1日から2023年3月31日までの財務諸表、すなわち、令和4年度の貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録、並びに収支計算書（以下、「財務諸表等」という。）について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、わが国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私の意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は、わが国において一般的に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、一般財団法人高銀地域経済振興財団の2023年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（2005年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、一般財団法人高銀地域経済振興財団の令和4年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

一般財団法人高銀地域経済振興財団と私との間には、特段の利害関係はない。

以上